



## 夏の暮らしのレシピ+「とり肉とレタスの茹でサラダ」

今回は、ワンちゃんとの夏の暮らしで注意したいこと+食事のお話。そして、この季節におすすめのサラダをご紹介します。

### 害虫、ブラッシング、熱中症...

季節は夏。生命の息吹を感じ、生き物にとっては最高の季節ですが...。ということ、虫たちにとっても「最高の季節」のはず。特に今の世の中 エアコンという大変便利な製品があるおかげで、生きもの(害虫と名の付くものまで)は年間を通して快適な生活が送れます。5~6月頃から虫も活動を始め、ノミ、ダニも言うに及びません。換毛期が続いているワンちゃんもいます。抜けた毛をそのままにしてフェルト化してしまうことでそこは虫たちの快適な住処となります。ブラッシングの励行やいすの天日干しなどもしてあげるといいでしょう。ハウスも床に直置きするより、スノコを敷いた上に置いてあげると空気の流れができて涼しいものです。また、サマーカットをされる飼い主さんも多いと思いますが、ワンちゃんたちの皮膚は大変薄く、直射日光には弱いものです。毛を刈ってしまうことより、ブラッシングをこまめにして、風通しを良くしてあげることも大切な暑さ対策です。



さて、食事についてですが、この時期は中途半端でもあり、気も緩みがちです。食器はその都度洗い、水は新鮮なものに取り換えてあげましょう。また、気温がそれほど高くなくても、湿度が高いことによる熱中症の危険もあります。閉めきった室内やお出かけの車内などは特にご注意ください。あまりお水を飲まないワンちゃんもいますが、水分補給もお忘れなく！今回はそんなワンちゃんも含め、簡単に水分補給もでき、飼い主さんはドレッシングをかけることで一緒に食べられるサラダをご紹介します。

### とり肉とレタスの茹でサラダ

#### 材料

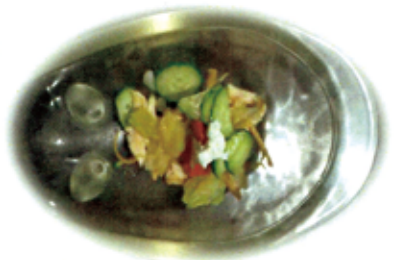
とりむね肉、レタス、トマト、キュウリ

#### 作り方

- ① とりむね肉を茹でてほぐし、冷ましておく。  
※とりのうまみが残っている茹で汁は捨てない。
- ② レタス、トマトはその犬の口の大きさに合うようにちぎって、トマトは種を取り皮を剥いておく。
- ③ ①の茹で汁でレタス、トマトを茹でる。
- ④ ①と③を混ぜ、キュウリを適当な大きさにスライスまたは角切り等にしてトッピングする。

- ⑤ 最後にヨーグルト(ワンちゃんは無糖・プレーン)、カッターチーズをのせてもよい。  
※ 飼い主さんは好きなトッピングでどうぞ。  
※ お好みで野菜は茹でなくてもOKです！

外からイ体を冷やすことも大事ですが、夏野菜は体を中から冷やしてくれます。上手に使いましょう！



## わんちゃん募集！！

毎月リファインおおがきのチラシにて可愛い家族わんちゃんの写真を載せていきたいと思っています。いただける方はぜひご連絡をお待ちしています。撮っていただいた写真のデータをいただくか、私達がお伺いして撮影させていただきます。

Panasonic リフォーム Club  
リファインおおがき

株式会社イッシン

〒503-0917 大垣市神田町1丁目76

TEL:0584-82-3611

FAX:0584-82-3633

URL: <http://issin.reform-c.jp> E-mail: [info@issinck.jp](mailto:info@issinck.jp)

建設業許可/建築業許可(第-24)第12834号 一般建築士事務所登録/建築業許可登録第5828号



「愛犬との暮らしで子供の成長を！」  
子育て家族の考える愛犬家住宅のカたち。

# 施工例 紹介



愛犬と  
暮らすために  
こだわったポイント！

最近では、若い子育て世代のご家族でも、平屋のマイホームを選択する方が増えてきました。子供の人数や家族のコミュニケーション、家々のものに掛ける費用などを考え支持されているようです。

今回ご紹介させていただく愛犬家住宅では、「子育てのしやすさ」と「愛犬との快適な暮らし」をしっかりと考え、コンパクトな平屋の家を実現しました。



## 家族団らんのリビングからドッグランへ

子育て家族にとっての心配事の1つ「安全性」。例えば、愛犬と夢中になって遊んでいるうちに、リビングから飛び出して怪我をしてしまうということも考えなければなりません。そこで、段差のない家づくりを考え、愛犬用リビング、家族用リビング、そしてリビングから続くタイルデッキへの導線で段差を極力無くす工夫をしています。キッチンも、リビングや外を見守れるように西配置することで、料理をしながら、子供たちが愛犬と遊ぶ様子をみ守ることができ、安心して暮らすことができます。

## 大きなドッグランは愛犬家の憧れ！

リビングからタイルデッキを抜けたところに、広いドッグランを設置しました。愛犬の運動不足を考慮して、小さな丘や土管を配置して自由に遊び回れる工夫も。安全性を考えて、愛犬の種類に合わせた高さの柵を設置することや、体への負担も考慮して芝生にするなどの工夫もポイントです。ドッグランの中で愛犬と一緒に走り回って遊んだり、愛犬が走り回る姿をタイルデッキで眺めながらティータイムを楽しむのも、愛犬家ファミリーにとって至福の時間に。



## 大きな吹抜けのリビングと愛犬のスペース

リビングの天井を高くしてゆったりと寛げるスペースを確保。その横にある愛犬用リビングは、愛犬がストレスを感じないように天井を低くして、自分だけゆったり寛げる工夫を施しました。そうすることによって生まれた上部のスペースに子供部屋を設置することで、子供部屋の天井も低くならず、平屋でありながら無駄のない子育て世代のマイホームを実現しています。